

平成 27 年 度

事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から  
平成 28 年 3 月 31 日まで

**公益財団法人 科学技術広報財団**

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下「財団」という）は、1973年（昭和48年）に「科学技術に関する広報啓発を行い、もってわが国の科学技術の振興に寄与する」ことを目的に設立され、設立以来の目的を変えずに今日に至るまで幅広い広報活動を続けております。

平成27年度の事業の実施にあたっては、今日の科学技術の進歩の中で、常に時代の変化に対応して、科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進のため、科学技術に関する情報を広く一般社会に発信し科学知識を普及すること、また、科学技術広報に関わる人材の育成を行うなど、広範な科学技術に関心と理解を深める広報活動を進めていきます。

引き続き財政的に厳しい状況下ではありますが、これまでの事業の継続及び拡大を通して収益を確保するとともに、経費の節減を図り収支の改善に努め安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

## I. 全体運営

### (1) 理事会の開催

通常理事会を6月及び3月に開催する。必要に応じて臨時理事会を開催する。

### (2) 評議員会の開催

定時評議員会を6月に開催する。必要に応じて臨時評議員会を開催する。

### (3) 企画委員会

財団の新規事業企画及び推進のため、外部の専門家による委員会を開催する。

### (4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページ・Webなどを通じ財団活動の広報活性化を図る。

### (5) その他

現事務所の賃貸借契約終了に伴い9月末日までに事務所の移転を実施する。

## II. 事業

### 1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

科学技術に関するポスター及びグッズの頒布を通して、広く一般の科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進に寄与する。

#### (1) 科学ポスターの企画・作成及び頒布

科学に対する興味の啓発のため文部科学省が制作した科学ポスター（一家に一枚シリーズ）を複製し有料頒布する。また文部科学省（一家に一枚シリーズ）への企画提案をおこなう。

最新の科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として、財団オリジナルの科学ポスターの作成及び有料頒布を行う。

書店、科学館、Webなど、広く一般に提供が可能となるよう引き続き販売委託機関の拡大に努めるとともに教育機関等への広報活動を推進する。

(2) 科学グッズの企画・開発及び提供

広く一般向けに科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進を図るため、商品の企画・開発をおこない、科学館などの教育文化施設のショップなどに提供する。

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

科学館など教育文化施設の運営及び運営支援を行うことにより、科学知識の普及啓発並びに科学技術広報に関わる人材の育成に貢献する。

科学技術に関する展示・映像コンテンツの企画・開発を行い、提供・巡回することにより、広く一般への科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進に寄与する。

2-1. 科学館の運営及び運営支援

- (1) 新潟県立自然科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業）として、平成27年4月1日より平成32年3月31日まで5年間の管理・運営を受託。引き続き常設展示の運用、一部展示の更新、特別展・実験教室の企画・実施、プラネタリウム映像の企画・制作などを通して、質の高い科学館運営をおこなうと共に人材の育成に努める。
- (2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業）として、引き続き常設展示の運用、特別展・実験教室の企画・運営、プラネタリウム映像の企画・制作などを通して質の高い科学館運営をおこなうとともに人材の育成に努める。
- (3) 横浜こども科学館の平成28年度からの指定管理者公募が予定されている。については、財団を主たる事業者とした共同事業体を組成して応募する。

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

(1) 展示コンテンツの開発

公益財団法人日本財団の平成27年度助成事業として採択された展示（映像）企画「(仮) 海に生まれて海に帰る」の制作・提供を行う。

助成金額は1,580万円。

(2) プラネタリウム映像制作

新潟、神戸、(横浜は予定)の科学館と連携して、「(仮) 宇宙図」の企画・制作及び提供をおこなう。

(3) 財団所有の展示・映像コンテンツの提供

- ①「こわいものめぐり」を愛媛県総合科学博物館（4/18～6/21）及び青森県立三沢航空科学館（7/18～8/30）へ提供する。
- ②栃木県こども総合科学館（7/18～8/30）で実施される「サイエンスクエスト・紋章展」へのサポート業務をおこなう。
- ③引き続き、財団が所有する展示コンテンツ及び、プラネタリウム映像のプロモートを推進する。

### 3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

科学技術関連団体の広報活動を支援する。また、広く団体・企業の依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報に関わる活動の支援及び科学館などの教育文化施設の施設・展示に関わる企画・立案を収益事業としておこなう。

#### (1) 科学技術関連団体の広報活動支援

日本科学オリンピック推進委員会が開催する各種国際科学オリンピックの情報及び地学の日本委員会事務局への支援業務をおこなう。

#### (2) 団体・企業の広報活動支援（収益事業）

団体・企業からの依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報活動への支援をおこなう。

### 4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### (1) ロボット研究開発技術のアーカイブ化

多数のロボット研究に携わってきた研究者の退職（研究室の閉鎖）と共に散逸してしまう恐れがあるロボット研究の、これまで蓄積されてきた知見・技術の成果のアーカイブ化を引き続き行う。

また、一部を科学館等の展示及び企画展として広く一般に公開する。

以上